



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

第5期中期ビジョン策定に向けたJVCA会員アンケート
【調査結果】

第5期中期ビジョン策定に向けたJVCA会員アンケート調査結果

調査対象：JVCA正準会員

実施期間：2024年7月1日～14日

実施方法：WEBアンケート（Googleフォーム使用）

回答者数：68名（回答率：19.7%）

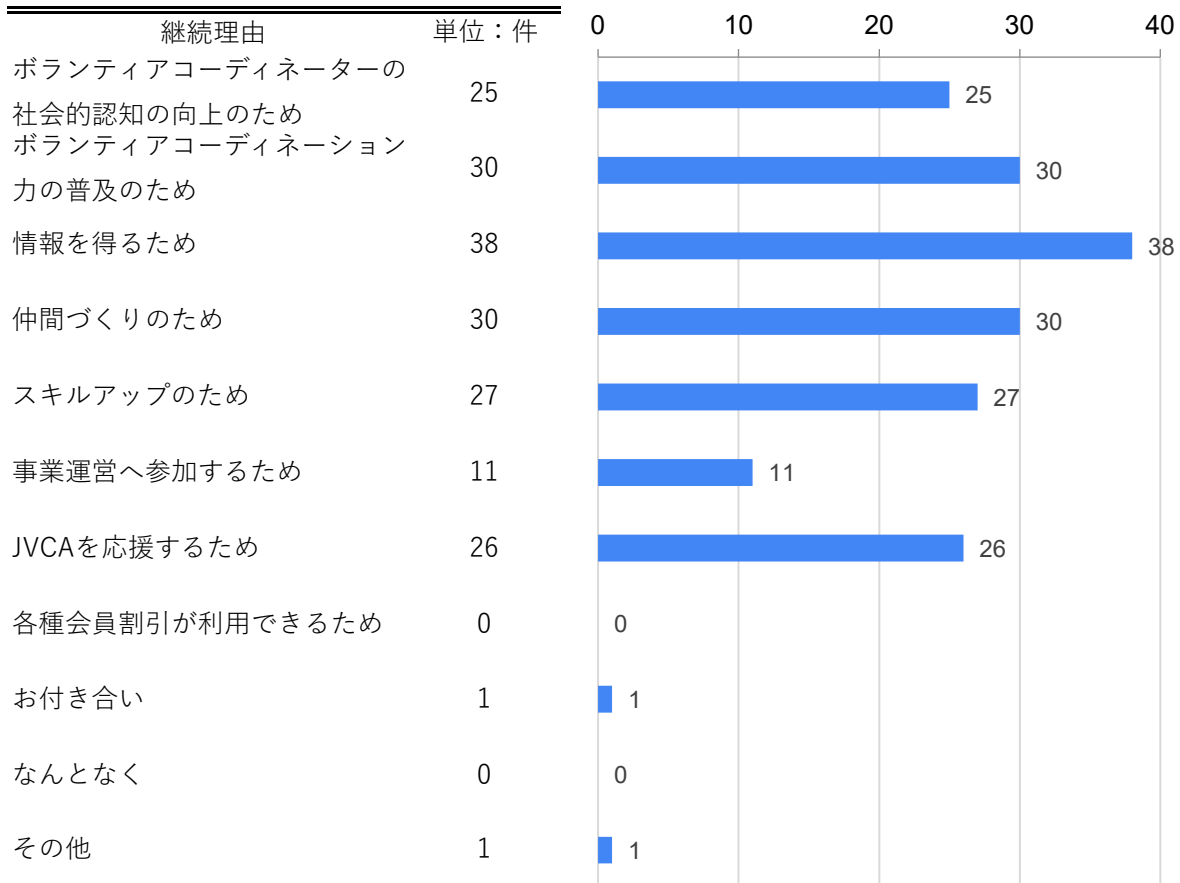
1.回答者の所属

単位：人



その他：「公益社団法人」1、「全国で社会福祉事業を行う法人内にある労働組合」1、「公共施設（市民センター）」1

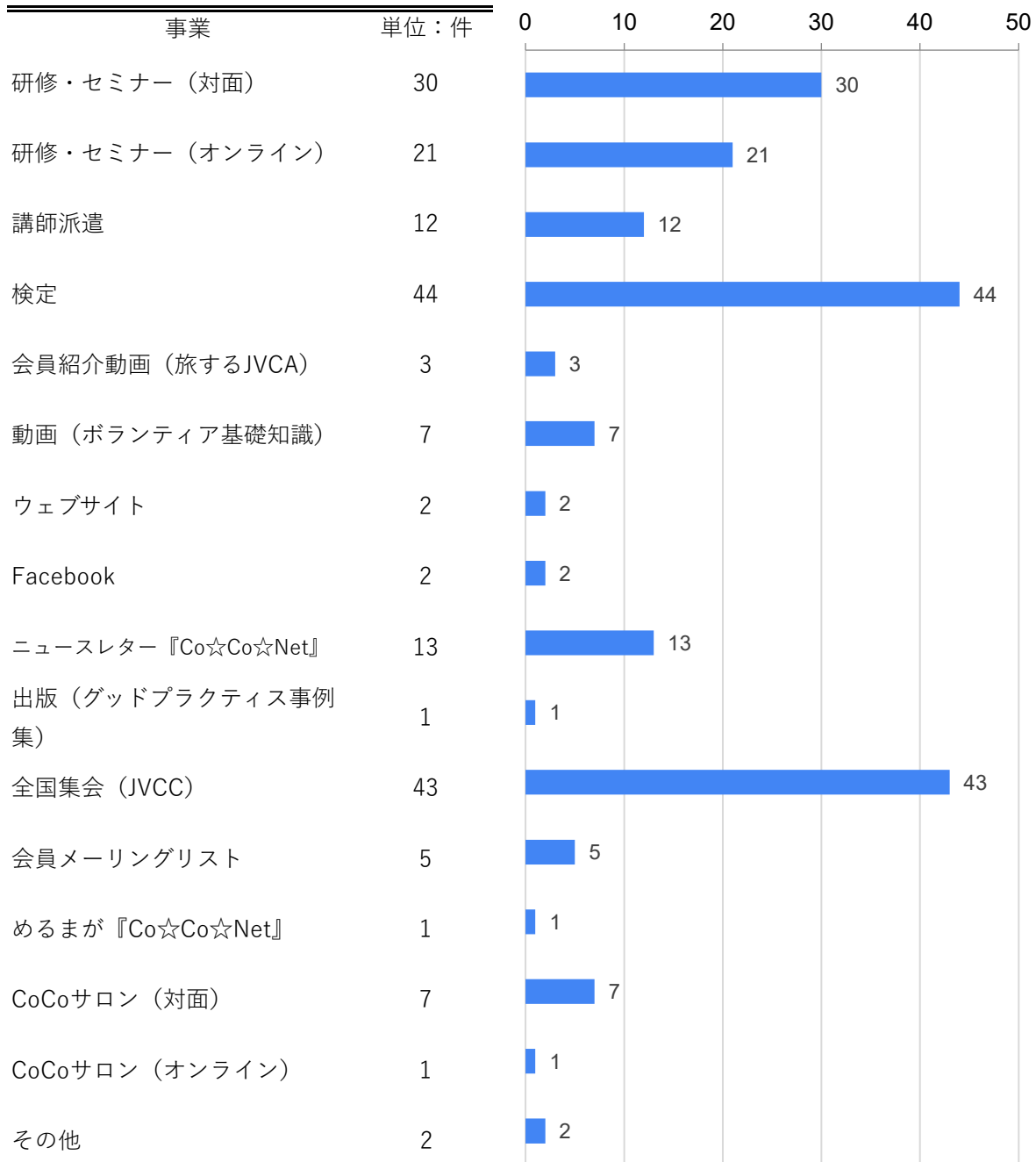
2. JVCAの会員を継続している理由（最大3つまで選択）



その他：

- ・会員という形で加わることで、ボランティアコーディネーターの応援をしたいと思ったから。

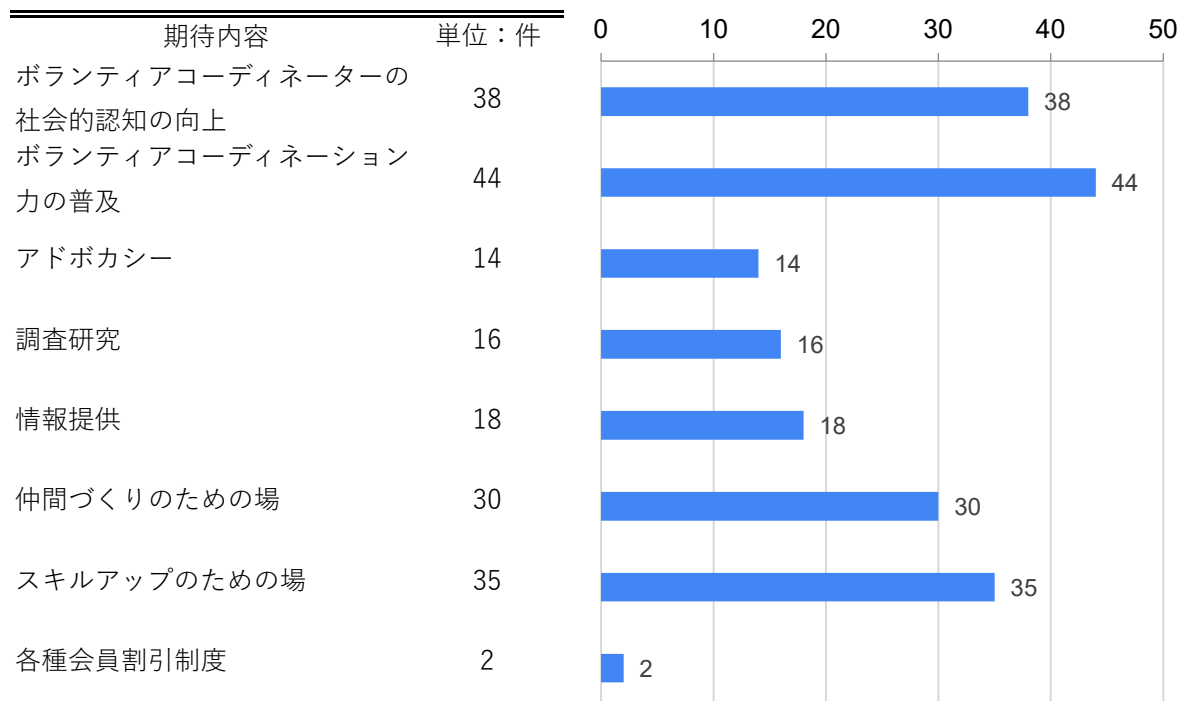
3. 評価しているJVCAの事業（優先順位が高い3つ）



その他：

- ・「基本理念（事業ではないかもしれませんが…）」
- ・入会したばかりで、まだよくわかっていないことが多いです。

4-1. JVCAへの期待（最大3つまで選択）



4-2. JVCAへの期待 (具体/自由記述)

No.	記述内容
1	ボランティアコーディネーションの認知が中々進んでいないと思います。
2	ボランティアと関わる業務や活動をされている方でも、コーディネーションという視点をあまり認識してないのではと思うから
3	ボランティアの専門性について具体的な内容を特定し社会的認知を図っていくことはとても重要な事であると思っているからです。
4	コーディネーションの機能は、ボランティアをはじめ地域で活動する人々にとって本当に必要になるものだと実感している。引き続き広く伝えていくことが大事。
5	「有償ボランティア」という言葉が抵抗なく使われていたり、あえて「ボランティア」という表現を避けたり、地域課題の解決や地域づくりの基本にあるボランタリーな参加についてもっとしっかりと理解され、コーディネーションの重要性が認識されることが必要だと感じるのです。
6	①ボランティアコーディネーション力の普及:これまで蓄積されたコーディネーションの価値やノウハウに沿った学びの機会の充実をお願いしたいです。 ②アドボカシー:ボランティアに関する発信をキャッチーかつ多様な所属の方々が共感できるような発信強化をお願いしたいです。 ③仲間づくりのための場:既存の会員だけではなく、コーディネーターたちがつながった方が良いような方たちとの関係を紡げるイベントを意識的に開催していただきたい。
7	JVCAが提唱するボランティア及びボランティアコーディネーション力について多くの人に正しく理解してもらいたい。また、ボランティア及びボランティアコーディネーション力をいかしたコーディネーターを増やし、市民社会の一助になってほしい。
8	コーディネーションの考え方などを普及させていきたい
9	コーディネーション力が社会変革に必要なと思うから
10	コーディネーション力の普及:不勉強のままコーディネーターをしている人が多く、多くの市民が犠牲になっている状況を憂いでいる。 アドボカシー:確立されている分野なのに価値が浸透していない。よって上記のようなことが起きている。 調査研究:様々な角度からの研究をする必要がある。その結果をもって上記に活かしてほしい。
11	コーディネーターは非常に重要な役割であるにもかかわらず、一般に認知されているとはいえないと思います。特に、自分が住んでいる地方では人材不足も相まって、その役割を認識できている人は業界の人くらいではないかとも思うからです。
12	これからも、明日からも頑張ろうと思える、モチベーションの高い仲間に出会える場であってほしい。ボランティアの意義とそのためのコーディネーターの必要性を一緒に広めていきたい。

No.	記述内容
13	ボランティア、ボランティアコーディネーションについて、職場内で知識や考え方をしっかり根付かせたいため。
14	ボランティア、ボランティアコーディネーターの重要性については、まだまだ社会的認知度が低い ため、同じような意識を持っている仲間と一緒に社会へ呼びかけたいため
15	ボランティアコーディネーションが広がることで、ボランティア活動をする人、ボランティアを 募集する人らが共通認識をもって取組むことができるようになる。また、共に活動する全国の仲 間が増えることは心強いなと感じているので、そういう場はこれからも大切にしていってほしい なと思う。それだけでなく、共にスキルアップしていける場もあると良いように思っている。
16	ボランティアコーディネーション力が必要な社会であることに変わりはないものの、時代の潮流 によってボランティアと呼ばれる言葉自体もアップデートが必要な時代が来るとしており、そ の流れの中でより世の中にあった形のコーディネーションが拡がっていくことを望んでいるか ら。
17	ボランティアコーディネーターが専門職としてあまり認知されていないから。そのためのアドボ カシー（認知向上のための仕組みづくりへの提言）も大切だと考えたから。仲間づくりはJVCA に参加するにあたって一番求めていたことだから。（認知向上と似ているが、横のネットワーク の中で情報交換をしていくことが全体の向上に資すると思ったから）
18	様々な分野・領域にVCO力を普及すること
19	この時代は衆知を集めて発信することが必要だと思うから
20	ボランティアコーディネーションは、全てのスキルに通ずると思うのですが、違う部分で議論さ れることが多いと思う昨今、でも、そのことに特化した発信は大切と思うため。
21	全国的に共有できるテーマや話題について積極的に発信してほしい
22	多様な人材が所属しており、それを活かした情報発信ができる
23	ファンドレイザーの認定みたいに、コーディネーターになったらJVCAで基礎研修をうけて認定 を受けるということが普通になるためには社会での認知がもっと必要だと思ったので。また、参 加しよう、というモチベーションは仲間がいてこそだと思うので。
24	ボランティア活動は活発化していると思います。地域活動とかかわる職業の方に、ボランティ アコーディネーション力の認知が高めることが重要であると考えため。
25	繋がりにくい世の中になり、今まで以上にコーディネーター力が必要となると予想されます。 JVCA.JVCCで知り合った方々から沢山学ばせて頂きました。今後も繋がりを広げていきたいで す。
26	身近になかなか同じような仕事をする人が少ないと思うので学び合いを通じて仲間づくりがで きることは貴重であると思います。

No.	記述内容
27	ボランティアコーディネーターの地位向上に寄与したいと思います。
28	近年、コーディネーターと名がつく職種が増えボランティアコーディネーターの存在感が薄くなってきたように思う。また、コーディネーション力は全ての職種で必要な源泉となるにも拘わらず国家資格取得者でさえそれを理解していないと感じることが多い。(資格は取ってしまえば終わりではない。)
29	自身の職業を紹介する時になかなか伝わらない事が多く、理解してもらえない事が多い。ポラセン等から縁遠い人にとっても聞き馴染みのある言葉になってくれればもっと出来る事もたくさんあるのになと思うので、社会的認知の向上はどんどん進めていきたい。そのためには我々のスキルアップも必要不可欠だと思うので、誇りをもってボランティアコーディネーターと名乗れるようになりたい。そのサポートをぜひお願いします。
30	社会的認知が進んだら、社会的地位も上がり、仲間が増えていくのではないかと思います。
31	非常に多種多様な場面でボランティア活動が展開されるようになったからこそ、コーディネーターの役割が重要になっています。しかし、自分が全く異なる分野で働いているからこそ感じるのですが、コーディネーターの認知度は向上しているとはいいいがたいと感じます。検定や講習などの経験と知識を蓄積してきたJVCAだからこそ、外に向けてより「分かりやすく」「丁寧に」、その役割を伝える必要があるのではないかと考えています。
32	個人や一事業所ではできないこと、プラットフォームとしての機能に期待したい。
33	スキルアップしながら仲間づくりできる場最高です。
34	ボランティアコーディネーションの向上のための研修
35	ボランティアコーディネーター業務に関して研修を開催されている機関はJVCAのみである為、可能な限り参加しているが、コロナ禍によりコーディネーターの横軸関係も希薄となったことから研修等で集まれる場があると良い。
36	みんなが参加する社会づくりを支える団体であってほしい。自分が地域で何ができるのか、一緒に考えてほしい。
37	各地での様々な優れた取組みを知りたいため。
38	自分自身の学びの場として期待しています。また、協同組合（生協など）へのボランティアコーディネーションの機能とスキルを広げていきたいと考えております。
39	毎年、JVCCでの時間が有意義なものとなっています。(夜の交流会も含めて)今後も期待しております。
40	ボランティアコーディネーターは一人職場や兼務が多いため
41	これらを総合的に実現する場がかつてのJVCCであったという認識です。学びの場であると同時に、同じ空の下で苦楽を共にする仲間同士の出会いの場、叱咤激励し合う場、そして安否確認の場でもありました。時代の趨勢、さまざまな事情もありませんが、ぜひとも今までのような、意義あるJVCCの復活を希望します。一会員としての願いです。

5. JVCAに対する意見（自由記述）

No.	記述内容
1	財政課題は重要な課題であり、持続可能な組織運営のためにも何とかしなければならないと感じております。（何もお役に立っておりませんが）
2	新しいセクターや層をどう仲間にしていくかが課題かと。
3	認知度上げましょう。
4	もっと、尖っていいと思います。そのほうが賛同者集まる気がします。
5	会員が地域内でJVCAを広めるためのツールがあると良いともいます。
6	ネットワークの広がり期待
7	Facebookの情報発信からInstagramの発信も増やしていったらどうでしょうか。若い世代がFacebookを見る機会が減少しており、情報の発信に世代格差を感じています。
8	昨年入会しましたが、首都圏と近畿以外の会員の少なさに驚きました。全国にまんべんなく会員のネットワークを広げる取り組みを一層強化していただきたいなと思いました。
9	会員向けの情報発信をとっても楽しみにしております。発信することは大変と思いますが、楽しみにしている会員もいますので、引き続き、よろしくお願いします。いつもありがとうございます。
10	いつもボランティアコーディネーションに関する最新情報を発信していただきありがとうございます
11	コーディネーターのためのコーディネーション技術だけでなく、市民が広くコーディネーションの重要性を理解できることも日本の社会の中では必要になってきているように思います。既存の範囲にとどまらない取り組みを期待します。
12	「ボランティア」の不遇と流行を追求してほしいと思います。時代の流れに合わせていく部分と変わらない価値を追求していく部分と両面があると思います。自信を持って(?)「ボランティアしようぜ!」と言える雰囲気ができるといいな~と思います。
13	今後もボランティアコーディネーションの認知の向上に向けた活動を継続してほしい。
14	Facebookはすでに役割を終えつつあるSNSです。ターゲットに合った多様なSNSの発信に取り組みつつ、マスコミをはじめとした各種メディアでの露出を重ねてこそ、広く一般にも知られると思うので、マンパワーの限られる中ですが、ぜひ発信を強化していただきたい。
15	ボランティアが運営する組織なので、集中と分散を考えると「集中」「焦点化」「重点化」が大切
16	ボランティアの倫理的な行動の根拠は既にありましたでしょうか。

No.	記述内容
17	JVCAの運営は、メンバーの熱い思いで継続していると実感しており、感謝している。
18	一人職場で周りから学べるのが少なく、JJVCAの講座、JVCCでコーディネーターの大切なことを教えて頂くことができました。感謝しております。
19	他にもやっていることが多くてあまり貢献できてないのですが、関心は持ち続けております。
20	いつも情報提供をありがとうございます。
21	盛り上げていきましょう！
22	いつもお疲れ様です！
23	いつもありがとうございます。皆さん倒れないようにお体にはお気をつけください。
24	理事、運営委員の皆様、いつもありがとうございます。
25	運営委員でありながら自分は何をしているんだろうと思うときがあります。申し訳ありません。
26	今後どうぞよろしくお願い致します。（他2件）

第5期中期ビジョン策定に向けたJVCA会員アンケート調査

B I U ☰ ✕

第5期中期ビジョンをよりよいものとするため、JVCAの事業に対する評価や今後の期待等について、会員の皆さまの忌憚のないご意見、お考えを教えてください。お願い申し上げます。

回答期限：2024年7月14日（日）までにご回答をいただけますと幸いです。

所要時間：3分程度

その他：このアンケート調査は、無記名で実施します。

【アンケート結果の取り扱い】

この度のアンケート結果は、第5期中期ビジョン策定及び今後の事業・組織運営のために使用します。

集計結果をJVCAのニュースレター『Co☆Co☆Net』またはウェブサイト等で公表する場合があります。自由記述の中に、個人、団体、地域が特定される内容があった場合、こちらで修正・削除等をする場合があります。あらかじめご了承ください。

1. あなたの所属についてもっとも当てはまるものを1つ選んでください。*

- ①社会福祉協議会（ボランティアセンター）
- ②社会福祉協議会（地域福祉推進部署）
- ③社会福祉協議会（施設・サービス事業所）
- ④社会福祉協議会（上記以外）
- ⑤社会福祉施設・事業所（社協を除く）
- ⑥病院・医療関連施設
- ⑦社会教育・文化施設
- ⑧国際交流協会
- ⑨中間支援センター（ボランティアセンター、NPO・市民活動支援センターなど）
- ⑩大学・短大・専門学校（教員）
- ⑪大学・短大・専門学校（職員）
- ⑫小学校・中学校・高校
- ⑬行政機関
- ⑭ボランティア・市民活動団体【法人格あり】（中間支援を除く）
- ⑮ボランティア・市民活動団体【法人格なし】（中間支援を除く）
- ⑯協同組合
- ⑰民間企業
- その他...

2. あなたがJVCAの会員を継続している理由は何ですか? 最大3つまで選んでください。*

- ボランティアコーディネーターの社会的認知の向上のため
- ボランティアコーディネーション力の普及のため
- 情報を得るため
- 仲間づくりのため
- スキルアップのため
- 事業運営へ参加するため
- JVCAを応援するため
- 各種会員割引が利用できるため
- お付き合い
- なんとなく
- その他...

3. あなたが評価しているJVCAの事業は何ですか? 優先順位が高い3つを選んでください。*

- 研修・セミナー (対面)
- 研修・セミナー (オンライン)
- 講師派遣
- 検定
- 会員紹介動画 (旅するJVCA)
- 動画 (ボランティア基礎知識)
- ウェブサイト
- Facebook
- ニュースレター『Co☆Co☆Net』
- 出版 (グッドプラクティス事例集)
- 全国集会 (JVCC)
- 会員メーリングリスト
- めるまが『Co☆Co☆Net』
- CoCoサロン (対面)
- CoCoサロン (オンライン)
- その他...

4-1. あなたがこれからのJVCAに期待することは何ですか？ 最大3つ選んでください。*

- ボランティアコーディネーターの社会的認知の向上
- ボランティアコーディネーション力の普及
- アドボカシー
- 調査研究
- 情報提供
- 仲間づくりのための場
- スキルアップのための場
- 各種会員割引制度
- その他...

4-2. 上記で選んだ内容について具体的に教えてください。

記述式テキスト（長文回答）

5. JVCAに対するご意見があればご自由にお書きください。

記述式テキスト（長文回答）

ご協力をいただきありがとうございました。

説明（省略可）